

平成24年度学校評価結果分析と改善方策（保護者）

岩手県立宮古工業高等学校

1 回収率 95.8% (226/236)

2 総評(全体の傾向)

- アンケート全項目の評価平均は、3.10となり判定はBであるが、かなり高い値となった。比較対象とした平成20年度はデータとして確認できる最新のもので、その後の平成21～22年度までのものは津波の被害で流失している。また、昨年は他校での再開で、学校評価を実施していない。評価平均を平成20年度と比較してみると、全ての項目でプラスの評価となった。
- 特に[宮古工業高校に入学させてよかった][日課(授業の開始時間・終了時間等)は適当である][宮古工業高校には、他校にない特色がある][修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています][電話の対応は適切である]ではA判定となった。今後も継続した指導や対応に心がけていかなければならない。
- 生徒指導や進路指導の項目では、3.0以上を示しておりおおむね満足されていると判断できる。
- 評価4の多い[学習の遅れがちな生徒にも親切に指導してくれると聞いている][宮古工業高校の保護者(親)は、PTA活動に協力的である]においては、厳しい評価の方がそれぞれ15名と18名おり、重要な課題だと考えられる。

項目	番号	内 容	課 題	改善方策等
全体	1	学校の教育目標が説明されている。	B判定。難しい質問だが、十分・おおよそ十分を含めて88.5%となった。理解していただいていると判断できる。	→ 今後も情報提供を継続
	2	先生は、熱心に生徒の教育活動を行っている。	B判定。87.5%が熱心に教育活動を行っていると回答している。	→ 日頃の教師の行動が判断されるため、今後も熱心な指導を心掛ける。
	3	先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれている。	B判定。78.2%が十分・おおよそ十部の評価をしている。しかし、クラスにより評価が変わる部分が見られる。	→ 生徒の状況をよく見て、早めの対応が必要 → 相談に応じることにより、生徒・保護者との信頼関係を作る必要がある。
	4	自分の子どもは、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている。	B判定。昨年度は79.5%が充実した学校生活を送っていると評価していた。やや不十分と回答している保護者も多い。	→ りじめと楽しく生活することの使い分けをすす → 整容指導に対する不満もあるので、その理由をしっかりと伝える必要がある。
	5	宮古工業高校に入学させてよかった。	A判定。90.3%とかなり高い値である。全員が希望通りの目標達成できるようにしなければならない。	→ 本校の目指す、全ての生徒が目標達成できるように計画的に指導する。
	6	日課(授業の開始時間・終了時間等)は適当である。	A判定。93.8%と特に問題はないと考えられる。	→ このまま継続。
	7	宮古工業高校には、他校にない特色がある。	A判定。87.6%と高い値を示している。今年は、工業祭があったためではないかと考えられる。	→ 保護者や地域の方々が学校へ来てもらう回数を増やす工夫をする。
授業	8	教材や教え方を工夫した、分かりやすい授業が多いと聞いている。	B判定。77.0%で分かりやすいと答えた保護者の割合が増えているが、やや不十分と回答した保護者もいる。	→ 日頃の教材研究により指導力を高める。 → シラバスの公開と理解。
	9	学習の遅れがちな生徒にも親切に指導してくれると聞いている。	B判定。73.4%で科によっても差がある。補習などによる効果もあるが、不十分と答えている保護者も多い。	→ 遅れがちな生徒への対応(個別指導等)
	10	生徒は、授業や補習によって十分な学力を身につけている。	B判定。71.7%、補習などでしっかりとした学力を身につけてもらいたいと考えている保護者が多いと思われる。	→ 授業の進度の検討 → 遅れがちな生徒への対応(個別指導等)
特別活動等	11	修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています。	A判定。93.8%と特に問題はないと考えられる。	→ 生徒が主体的に取り組める行事 → 学校理解のために検討が必要かもしれない。
	12	性教育・薬物乱用防止講話など、命や人権を大切にする教育が積極的に行われている。	B判定。80.5%、LHRや学年ごとの保健指導が評価された。	→ 今後も継続して行う。 → 保護者の参加
	13	ゴミ拾いや老人ホーム訪問など、環境や福祉などに関するボランティア活動が活発に行われている。	B判定。84.0%で津軽石川原清掃やボランティア活動での評価ではないか。	→ 川原清掃の時期の検討
	14	部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、活動は活発である。	B判定。83.2%で自由記述にも書かれているが、多くの生徒はよく頑張っている。	→ 活動していない生徒への対応。ホフアインなどを含めて検討していくことも必要ではないか。
	15	部活動に関係する施設・設備は十分である。	B判定。72.6%で震災後に不便をかけている部活もある。	→ 老朽化したものを含めて継続的に申請する。
生徒指導	16	生活の規律(遅刻や服装、ルール・マナーなど)に関する指導が適切に行われている。	B判定。85.4%、保護者の協力のもと生活規律が守られている。反面、頭髪について自由記述あり。	→ 容姿指導について、保護者の理解と継続的説明と必要である。面談等でも説明する必要がある。
	17	生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われている。	B判定。86.3%、問題点を精査して実施する必要がある。	→ 今後も継続して指導する。
	18	先生は、「良いことは良い、悪いことは悪い」ときちんと指導している。	B判定。87.2%とA判定に近い判定である。保護者に指導について理解されている。	→ 今後も継続して指導する。
	19	宮古工業高校の生徒は、礼儀正しい生活をしている。	B判定。79.6%でおおむね良好であるが、足りないという意見もある。	→ 今後も継続して指導する。 → できていることを褒めて伸ばす
	20	宮古工業高校の生徒は、服装・頭髪がきちんとしている。	B判定。82.7%でおおむね良好であるが、ボタンをはずしたり、作業服をだらしく着ているという指摘もある。	→ 頭髪については規定や日程などを保護者に確実に伝わるようにすることで、理解を図る。
	21	宮古工業高校の生徒は、社会のルールや学校のルールを守っている。	B判定。81.3%、バスの待ち時間でのクレームがあった。一部の生徒の行動であるが継続的に指導が必要である。	→ 登下校時の指導
進路指導	22	学校は、進路に関する情報をよく提供してくれている。	B判定。84.0%、3年生だけではなく、1年生から管内以外にも、県内外について情報提供が必要である。	→ 継続して進路情報の提供をしていく
	23	進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている。	B判定。85.3%とA判定に近い値だった。早期100%達成のおかげである。	→ 今後も継続して進路関係の諸行事をアピール
	24	将来の生き方や進路に関しての指導・面談が十分に行われている。	B判定。78.8%、早期全員進路先決定の成果である。	→ 生徒個々にあった進路指導を目指す。
その他	25	学校は、保護者(親)と情報交換し、話し合う機会を設けている。	B判定。71.7%、やや不十分と考えている保護者も多い。	→ 早期の連絡 → 面談等は希望があれば何度でも実施する。
	26	学校には、保護者(親)が学校や先生に相談しやすい雰囲気がある。	B判定。70.8%、ささいなことでも相談できる環境を整える必要がある。	→ 生徒指導の場面だけではなく、ささいなことでも連絡を取ることで、相談しやすい雰囲気を作っておく必要がある。
	27	学校から家庭への連絡や情報提供はきめ細かい。	B判定。67.1%、他項目より低い値であった。文書等が保護者に確実に届いていない場合もあるのではないか。	→ クラス独自の情報提供も必要ではないか。 → 封書に入れて渡す、郵送をするなど、保護者に文書などが確実に届く手段の検討
	28	宮古工業高校の保護者(親)は、PTA活動に協力的である。	B判定。60.4%と全設問中一番評価が低い。PTA行事の出席率がそのまま結果として表れている。	→ 文書の配布方法の検討 → 学校任せにならないように協力依頼をする
	29	学校の施設や設備は充実している。	B判定。81.9%、おおむね良好の評価だった。校内を見学する機会が足りない。	→ 入学式等で積極的に施設見学を実施する。
	30	教室、校舎、校庭の美化・清掃は行き届いている。	B判定。88.1%A判定に近い値であった。	→ 公共物を大事にする指導を継続するとともに、職員の掃除監督の徹底。
	31	電話の対応は適切である。	A判定。87.2.4%とかなり高い値であった。	→ 普段から職員が意識し、苦情対応も含めてきちんと対処する。
	32	今年度、PTA活動や学校行事などで学校に行った回数は何回ですか。	B判定。1回が最も多い。三者面談での来校が多いのではないか。	→ PTA活動に同じ。